



埼玉のすごい文化 *Meets* 東京キャラバン!!

東京キャラバン in 埼玉

2019年10月13日(日)16:15~ 観覧無料

大宮公園・埼玉百年の森内特設会場 埼玉県さいたま市

リーディングアーティスト:
 糸井幸之介 / 深井順子 (FUKAIPRODUCE羽衣) ・ 黒田育世 (振付家・ダンサー)
<http://tokyocaravan.jp>

あの「東京キャラバン」が埼玉にやってくる! 野田秀樹が提唱する「多種多様なアーティストたちの“文化混流”から生まれる新たな表現」をコンセプトに創作するワークショップとパフォーマンス、それが「東京キャラバン」です。東京、リオデジャネイロ、東北、京都、熊本、豊田、高知、秋田、いわきを旅して、数々の“わくわく”と“どきどき”を生み出してきた“旅する文化ムーブメント”は、ここ埼玉でさらに進化します。東京2020オリンピック・パラリンピック開催と、その先の未来へ続く“始まりの物語”を、“あなた”と紡ぐ一日です。



Come on!
来て! 観て!
「東京キャラバン」

「これまで出会うことのなかった表現者たちが言語や国境、表現ジャンルを飛び越えて、混じり合うところに、文化が生まれる」この野田秀樹(劇作家・演出家・役者)の提唱に賛同する様々な表現者同士の“文化混流”から生まれる、唯一無二の“旅する文化サーカス”。それが「東京キャラバン」です。
2015年から東京、ブラジル、東北、京都、熊本、豊田、高知、秋田、いわきなど国内外を訪れ、その土地の文化や伝統芸能の担い手、表現者、新たな可能性を持った若者らと出会い、今までにないパフォーマンスを創作・発表してきました。
目撃し体感する観客のみなさんが、それぞれの心に蒔かれた“文化の種”を育て、未来へと続いていく文化活動のプラットフォームになってくれることを願って、今年も東京キャラバンは日本中を駆け巡っていきます。



埼玉の歴史や文化を体感し、そこから着想を得たリーディングアーティストの糸井幸之介/深井順子(FUKAIPRODUCE羽衣)、黒田育世(振付家・ダンサー)と参加アーティストが、秩父音頭やスティールパンバンドなど、埼玉で活躍する様々な文化の担い手たちと出会い、ジャンルを越えて交わり、ともに新しい表現を創り上げます。果たして、どんなパフォーマンスが花開くのか。ステージは目撃者である“あなた”を通して完成します! 観覧は無料、出入り自由。「東京キャラバンin埼玉」でしか観ることのできない貴重なパフォーマンスを、是非とも“生”で体験してください!

2019年 10月13日(日) 16:15~

大宮公園・埼玉百年の森内特設会場
埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4
※「埼玉 WABI SABI 大祭典 2019」と同時開催

**観覧無料・
事前予約不要
出入り自由**

- 電車をご利用の場合
JR大宮駅東口から徒歩20分(約1.5km)
東武アーバンパークライン大宮公園駅
または北大宮駅から徒歩7分(約500m)
- バスをご利用の場合
JR大宮駅東口 国際興業バス「導守循環(寿能回り)」(大15)に乗車10分
「大宮サッカー場前」下車
JR大宮駅東口 東武バス「吉野町車庫」(大47)に乗車10分「サッカー場前」下車
※運行本数が少ないためご注意ください。

「埼玉 WABI SABI 大祭典 2019」専用無料シャトルバスをご利用いただけます。
※詳細は公式サイトをご覧ください。



※雨天時は会場及びプログラムを変更して実施します。 ※出演者やプログラム内容は予告なく変更になる場合があります。 お問い合わせ先:info@tokyocaravan.jp
主催:東京都 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、埼玉県 後援:さいたま市 総監修:野田秀樹(劇作家・演出家・役者)
メインビジュアル:石原七生 扉面写真:井上嘉和、篠山紀信、宮井正樹、三浦知也、石川拓也、コンドウダイスケ
◆「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは
東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、オリンピック・パラリンピックが開催される2020年の東京を文化の面から盛り上げるため、Tokyo Tokyo FESTIVALとして様々な文化プログラムを展開しています。東京キャラバンはその一環として実施しています。また、東京2020公認文化オリンピックアードでもあります。 https://tokyotokyofestival.jp

キャラバンってなんだろう？
ラクダを引いた楽団みたいのかな？
どこから来てどこへ行くかなんて、全然興味がないけれど、僕は、東京から来て埼玉へ行くのかな？そんなこと言っても、家から三つ隣の駅は埼玉だし……
知らないところで知らない人たちと、できるだけ素敵な、できればスペシャルな、時間を過ごしたいと思っています。つまり、それは、人生です。
糸井幸之介(劇作家・演出家・音楽家)

Leading Artists



ずっと参加してみたいと心がうずうずしていました。やっきたー!嬉しいです。そうして緑の多い大宮公園でやれる事。秋の頃は少し紅色の葉もあるのかもしれませんが、それもいいな。野外でやるのは楽しい。そうして今回は秩父音頭とスティールパンが入って共に作品を作ります。今まで挑戦したことのないことなのでワクワクしています。芸術がお祭りになったらきっと成功です。黒田さんの振付もどきどきです。みなさんと夢みたいな時間を過ごしたい!過ごしましょう!
深井順子(俳優・「FUKAIPRODUCE羽衣」主宰)



小さな盆栽の木陰に潜り込んで下から枝振りを見上げてみると自分が小人になってその盆栽が大切にしてきた(されてきた)時間に流れていた旅だった!(東京キャラバンに向けた視察時の大宮の盆栽美術館での奇跡のような体験)
埼玉に潜り込んで文化を見上げてみると自分が旅人の小人になって埼玉の方々大切にしてきたこと(されてきたもの)を改めて大切にしたい文化の流れになる!
黒田育世(振付家・ダンサー・「BATIK」主宰)



とにかく生きて見て、心で感じること!
それが「東京キャラバン」の醍醐味です!

- 参加アーティスト 糸井幸之介、深井順子、黒田育世、石川朝日(俳優)、大石丈太郎(俳優)、澤田慎司(俳優)、代田正彦(俳優)、日高啓介(俳優)、山森大輔(俳優)、Steelpan Band -Pele- & Colors、皆野民俗芸能奏楽研究会(秩父音頭)、小松陽佳留(衣装)、青木兼治(映像)、金子愛帆(写真)

「必要なのは、今、2020年にむけての「物語」、そして、その「物語」が2020年を超えても続いていけるような、そんな「物語」を作ることはできないのか? 1964年の東京オリンピックには、これで戦後が終わっていくのだ、日本がよいよ世界に向かって復帰できるのだ、といった確固たる物語があったように思う。今回の東京オリンピックには、今、日本人を動かすべき、そうした大義名分のような「物語」を簡単に見つけることは難しいだろう。ただ、ある程度の大きさの「物語」を積み重ねることで、人々の「気運」を作ることはできる。そして、盛り上がった「気運」の中からしか、壮大な物語は生まれないと思う。(中略)そして、この東京キャラバンが日本にばらまいた、目の前にある文化=ライブの面白さ。それを経験した小さな子供たちの心の中に種が撒かれる。インターネットの普及で偏りがちになった文化とは、全く違う姿、目の前で息をしている人間が生み出す文化への興味を示してくれるようになり、その中から、新たな形態の文化を生み出すとき、この「東京キャラバン」という物語は、本当に壮大な物語になるだろう。」
総監修 野田秀樹(「東京キャラバン」構想より)



インターネット でのライブ中継 実施決定!

「東京キャラバンin埼玉」をより多くの皆さまにご覧いただくため、公式WEBサイトにてインターネットライブ中継いたします。詳しくはWEBサイトをご覧ください。
http://tokyocaravan.jp

